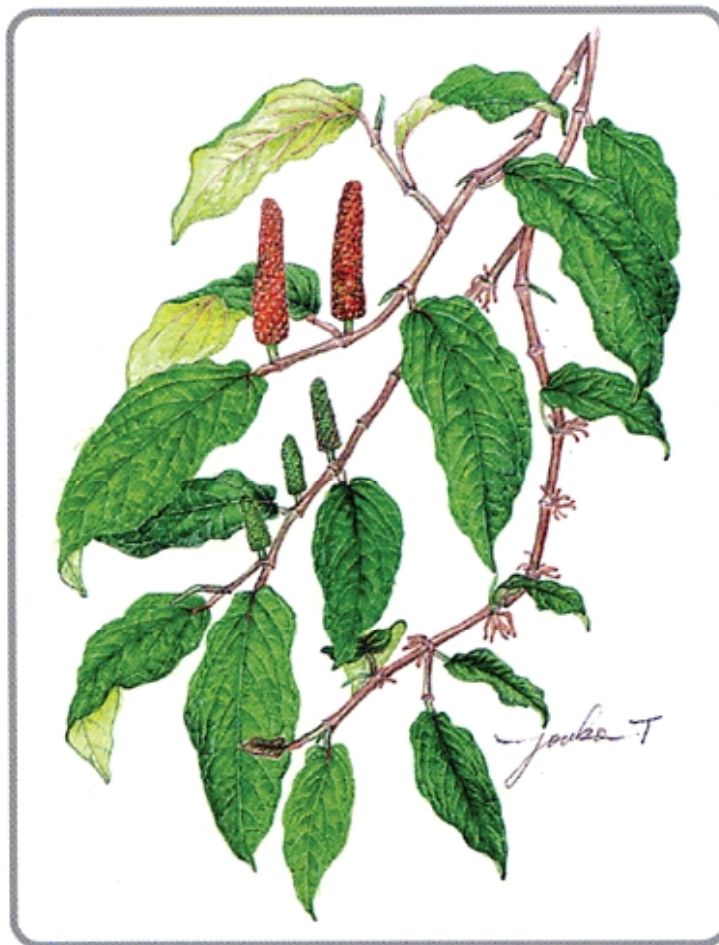




女 男  
石垣市の **みーどろん** と **びぎどろん** のひろば



「ヒハツモドキ」

■ 平成20年度男女共同参画週間 石垣市主催事業 「標語コンクール」

最優秀作品

ひと ひと  
「男と女 心一つに和で拓く 豊かな未来」

(多良間 明美)

発行／石垣市総務部広報広聴課男女共同参画係

〒907-8501 石垣市美崎町14番地

TEL 0980-82-9911 (代)

TEL 0980-82-1243 (直)

No. 28

2008年 秋季号

題字・絵：嵩西 洋子

# 石垣市男女共同参画行政2008

## 石垣市男女共同参画会議から

### 条例制定に向けて「20の提言」

石垣市男女共同参画会議では、3月6日の第1回会議を皮切りに、「石垣市男女共同参画推進条例(仮称)の策定に向けての提言について、3ヶ月に及ぶ検討会議を開催しました。

当会議では、条例に盛り込むべき内容、考え方等を検討するために、20名の委員を3班に分け、それぞれの担当箇所を決めての検討会議、最後に班で検討した結果を3班の合同会議で審議を重ね、「20の提言」をまとめていただきました。



平成20年6月5日

**20の提言**：①条例の名称 ②前文 ③目的 ④定義 ⑤基本理念 ⑥責務  
⑦男女共同参画計画 ⑧積極的改善措置 ⑨雇用・起業の分野における男女共同参画の推進 ⑩個人で営む起業における男女共同参画の推進 ⑪家庭生活に対する支援  
⑫市における文化・産業の振興 ⑬市民等の活動に対する連携・協働 ⑭性別による人権侵害の禁止 ⑮情報に関する留意事項 ⑯公衆に表示する情報への配慮 ⑰財政上の措置 ⑱調査研究・年次報告 ⑲苦情処理 ⑳審議会の設置・権利

## なぜ条例が必要なのでしょうが

これまでも石垣市では、安心して生き生きと暮らせる男女平等な社会の実現に向けてさまざまな取組を進めてきました。

それでも「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」といった性別で役割を染めてしまう考え方や、それをもとにした男女間の不平等たくさん問題が残されています。

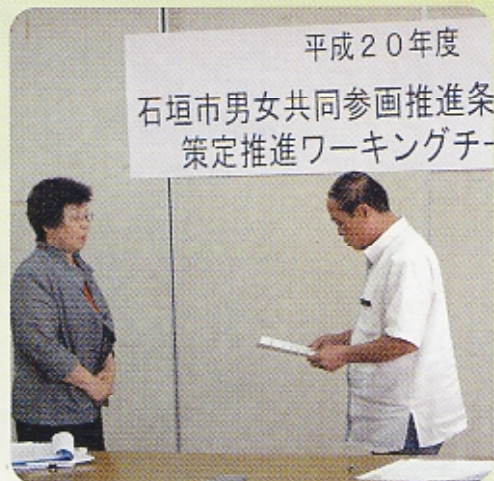
これからは、男女がいっしょにいろいろな分野に参画し、お互いが尊重され、自分らしく生きることができるようまち、石垣市をつくっていくためには、市民、事業者、教育関係者及び市民団体の皆さんと市がいっしょになって「男女共同参画社会」を進めていくことが不可欠です。

これらの考え方や、市が取り組まなければならないことをきちんと理解していただくために、じょうれいを制定します。

## 《策定推進ワーキングチーム会議開催》

市民及び市職員で構成する「策定推進ワーキングチーム」が、事務局案をたたき台として、石垣市男女共同参画会議かあの提言を基に23条からなる条例の骨子案を作成しました。

委員は新城由利子をチーフとして、長崎一枝  
井上恒子 南和秀 森井智恵子 加勢本多代子  
宇根和昌 當間律子 内原英政 丸山さい子の  
10名です。



H20年7月8日  
委嘱状交付式



調整会議

平成20年度

## 男女共同参画週間 パネル展

「男女共同参画週間」に合わせて市役所1階ロビーで「男女共同参画週間パネル展」を行いました。「男女共同参画週間」とは、平成11年6月23日の男女共同参画社会基本法の公布・施行日にちなんで毎年本市も開催しており、それに関係したイベントなどをパネルでわかりやすく紹介しています。

今回は前年行われた「男女共同参画都市ーいしがき宣言」の様子、宣言文の趣旨・解説「平成20年度標語コンクール」の入賞作品、「ポスターで見る男女共同参画の歩み」「男女共同参画基本法」の概要説明などを展示しました。また、八重山女性の翼の会による「世界地図で示す八重山女性の翼の会研修地」も紹介されました。



平成20年6月23日～29日

# 平成20年度「男女共同参画週間」 「標語コンクール」

平成20年男女共同参画週間にむけて「標語コンクール」を募集しました。ほのぼのとする作品からちょっと皮肉が利いている作品まで、老若男女たくさんの方々からの応募がありました。最優秀作品に多良間明美さんの

「男(ひと)と女(ひと)心一つに和で拓(ひら)く豊かな未来」が選ばれました。



男と女心一つに和で拓く豊かな未来

多良間 明美

家族みんなで家事分担 働くママにゆとりの時間

田安 苗子

「男女共同参画社会」広げよう優しくそで

佐久本 よう子

男女共同参画の実現でまーるくなった

家族の心・私たちの街

川平 孝子

わからあう力 わからあう未来

男女共同参画社会

久貝 富士子

## 《女性団体支援》



石垣市女性団体ネットワーク会議  
総会開催 平成20年7月16日  
「第11回まるざーフェスティバル」日程決定  
11月29日(土)～11月30日(日)



第11回まるざーフェスティバル実行委員会  
開催(全体会議)



## パネルディスカッション

テーマ

「地域における女性と子供の人権の現状を知っていますか？」

「女性の翼」の会潮平会長あいさつ



「八重山『女性の翼』の会」主催のパネルディスカッションが開かれました。会場ではそれぞれ女性や子どもの人権侵害にかかわっている相談員の3名がパネリストとして出席、話をまとめるコーディネーターは「八重山『女性の翼』

の会」の岡田 啓子氏が務めました。パネリストの最近の事例報告を会場の皆さんは真剣に聞き入っていました。その後の質疑応答でも会場の皆さんから次々と質問が飛び出し人権問題への関心の高さをうかがわせました。

と き：平成20年6月24日  
と ころ：石垣市健康福祉センター

資料：八重山「女性の翼」の会提供

八重山圏域初の  
沖縄県議会女性議員

**辻野ヒロ子氏**

今回県議会有史以来、八重山圏域の女性議員として2期目をとり、離島の抱える諸問題に取り組んでいる女性議員。



石垣市選挙管理委員に就任

**岡田啓子氏**

(平成19年12月～平成23年12月まで(任期4年間))

主な任務は、市の選挙に関する告示、投票日の決定、選挙人名簿の調整及びその他選挙の業務内容等の決定を行います。

「中立公正な立場で職務に挑み、健全な選挙が遂行されることはもとより、市民の選挙への関心と信頼が高まるように、委員の一人としてかかわっていきたい」と抱負をのべられていました。

▲▲▲▲ **おめでとうございます** ▲▲▲▲

「瑞宝双光章」受章おめでとうございます

**平良 ヤス様(更生保護功勞)**

保護司に携わって28年。

地味で目立たない仕事だが悩める子どもたちを愛と助言で立派に成長させたご苦勞に頭が下がります。



第41回 沖縄県

婦人の主張中央大会で

**県教育長賞と県婦人連合会長賞に輝く**

**金城弘美さんと板東公美さん**

金城弘美さん「県教育長賞」・・・「八重山民踊から学んだ心を響かせて」  
板東公美さん「県婦人連合会長賞」・・・「老人(ういびとう)や宝」をテーマにそれぞれが主張しました。受賞報告にあたり、地域の皆さんに感謝し、発表したことを地域に生かし実践していきたいと抱負をのべていました。

## 「日本女性会議2008とやま」開催

男女共同参画の推進を目指す国内最大級のイベント。「日本女性会議2008とやま」が「みんなが輝く未来のために」をテーマに10月17日から2日間の日程で開催されました。

内容は、シンポジウム、分科会や交流会を実施。全国から参加し、約2千6百人が性別にかかわらず、自分らしい生き方を選択できる社会の実現に向けて議論し、情報発信の場となりました。

シンポジウムでは、広岡守穂中央大学教授がコーディネーターを務め、パネリスト3人(資生堂副社長岩田喜美枝氏・高橋はるみ北海道知事・内閣府男女共同参画会議員、鹿嶋敬実践女子大学教授)が意見を交わしました。男女共同参画社会の実現に向け、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)が必要との主張で一致し、参加者に「身近なところから変えて生きましょう」と呼びかけました。

### ワークライフバランスの意義として

- ・「リフレッシュだけでなく、社員に多様性が生まれ、仕事のプラスになる。」
- ・「啓発だけでは広がらない。ワークライフバランスが企業にとってメリットになることが必要。」
- ・「単に働くだけでなく、仕事の質、働き方も大事になる。」と話されました。



真剣な表情で基調講演に聞き入る参加者



シンポジウムで議論する右から高橋、鹿嶋、岩田、広岡の各氏  
= 富山市のオーバード・ホール

資料：北日本新聞より引用



## ワーク・ライフ・バランスとは……



ワーク・ライフ・バランスとは、ワーク(仕事)、ライフ(生活/趣味/家庭)を自らが希望するバランスで展開できる状態を言います。ワーク・ライフ・バランスというと、家事と仕事を同じだけすることをイメージするかもしれませんが、そうではありません。本来のワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和とも言い換えることができます。

「男女共同参画女性人材リスト」へ  
登録 随時募集中...

女性の声をもっと市政に届けてよりよい石垣市を作りたい。本市では、多方面にわたり女性の登用を積極的に進めています。そこで、石垣市で活躍されている女性の人材情報を「女性人材リスト」に登録し、審議会の委員を選ぶ時、専門的な立場からアドバイスが欲しい時などに情報を広く提供していきます。ぜひ、皆さんの力を私たちに貸してください。自薦・他薦は問いません。登録をお待ちしています。

## ① 登録できる人

市内に居住若しくは勤務し、又は市内の団体に所属している20歳以上のものとする

- ア. 勤務先又は諸団体において活躍している者
- イ. 専門的知識や技能を有しているもの
- ウ. その他(石垣市男女共同参画女性人材リスト登録事業実施要領第1条の目的のために登録することが適当であると認める者

## ② 登録できる分野

- |   |           |   |               |
|---|-----------|---|---------------|
| ア | 男女共同参画    | ス | 教育            |
| イ | 人権        | セ | スポーツ          |
| ウ | 子育て・家族    | ソ | 農業・水産業・商工業・労働 |
| エ | 高齢者福祉(介護) | タ | 国際交流          |
| オ | 医療・健康     | チ | 語学            |
| カ | 消費生活      | ツ | 情報・通信         |
| キ | 法律・行政     | テ | 報道関係          |
| ク | 社会保障      | ト | 政治・経済         |
| ケ | 福祉        | ナ | 建築            |
| コ | まちづくり     | ニ | 環境            |
| サ | 地域活動      | ヌ | その他市が必要と認めたもの |
| シ | 文化・芸術     |   |               |

## ③ 登録方法

石垣市総務部広報広聴課に申込書を準備しています。

Tel 82 - 1243 (直通) Fax 83 - 1427

### 表紙解説

「まるざー」とは、八重山方言で円座を意味します。老若男女関係なく、円座になって情報を交換したり、未来を語り合うことを象徴して命名されました。題字と絵はハーブ教室の開催・コーディネーター及び指導者として活躍しておられる尚西洋子さんです。絵は作品名「ヒハツモドキ」沖縄ではビパーツ・フィフアチ・ヒハツの名前で親しまれています。題字はそのビパーツのツルを使って文字を作ってもらいました。